



イラストは
たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。
《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。



池下由梨亜 さん



江藤 紅葉 さん



遠山 ノア さん

▼下から3列目、左から2番目。御船小学校入学式の写真



まちへのラブレター

ふふふ
ねまるとてもかわいいです。お母さんが会ってみたいと言っていました。
ねまるとも頑張れ！応援しています。（熊本県内2位もすごいです。）
ねまるとも君の投票も終わりましたね。今度は11月の文化祭と教育フォーラムが待ちどおしいですね。毎年楽しみにしています。今年はふねまる君にも会えるかもですね。孫が大好きです。（本当は私も大好きですけどね）
（滝尾・Mさん）

秋は芸術やスポーツなどのイベントが盛りだくさんです。文化祭や教育フォーラム、町民スポーツ大会の記事は来月号に掲載する予定です。お楽しみに。今回のグランプリで87位と健闘したふねまる。今後も広報では、できるだけふねまるの活動を取り上げていきたいと思っています。
（広報係）

御
船町がますますはってんしていきますように。
（田代・Kさん）

十
報を楽しみ見えています。御船の情報がわかっていいですね。料理の紹介もいいですね。寒くなるのでお体に気をつけて頑張ってください。
（高木・Fさん）

恐
竜博物館への再入場者（リピーター）についてもつとひねり欲しいものです。
（木倉・Mさん）

今
年もう残り少なくなりました。一年一年あつと言う間に過ぎて行くのが早く感じるのは年のせいでしょうか。大きな災害も事件も数えきれない程あり記憶するのが大変です。来年こそ何事もなく、胸を痛める事が起きないでほしいと願うばかりです。
（豊秋・Mさん）

七瀬のOさんから身体障害者相談員の松本和子さんに対する応援のメッセージをいただきました。応援してくれる人や協力してくれる人がいるのはご本人の励みになると思います。ありがとうございます。
（広報係）

先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

「御船小学校の思い出」



御船小学校 井上 光代 教諭
（御船町出身）

小学校の入学式の写真です。当時は、体育館ではなく「講堂」でした。とても古い建物でしたが、子ども心に歴史を感じる佇まいでした。私が入学をした頃まではグレー色をした制服がありましたが、普段は私服で過ごしていた気がします。校庭には遊具がたくさんありました。中でも人気だったのが「回旋塔（かいせんとう）」です。傘みたいな形をしていて、手すりに捕まってぐるぐる回る遊具です。しっかり捕まっていけないと振り落とされて怪我をしてしまうこともある結構危険な遊具でしたが、とても人気がありました。しばらくすると、回旋塔で怪我をする人が多くなり4年生以上でないと遊べないというきまりができ、がっかりしたのを覚えています。最近では安全上の問題から撤去され見かけませんが、今でも回旋塔は私が一番好きな遊具です。

文芸

ひとひねり

短歌

マネキンの余生は稲田の見張り番妻わら帽子に野良着姿で
出立ちの日嫁に行くなとせがみし第六十八にて逝きしよああ！
市川 結子

耳近く鳴く蚊を叩けり思い切り眼鏡かけいることを忘れて
甲斐れい子

ヘルパーが山蛾を追いて潰ししが白寿の朝の一こまとなる
北村やよい

七つ鐘ひびき止むまで掌を合わす茶の間で黙禱八月六日
平野 文子

天を点く勢い見せて伸ぶ竹に腰だに伸ばぬ吾ははがゆし
藤本 京子

それぞれの親の面輪にそつくりのうから等並ぶ弟の忌に
正宗タツ子

雨の降る山路に仔犬さまよいて去り行く吾らを淋しげに見る
山本志満子

コスモスに囲まれてゐる笑顔かな
波辺ケイ子

コスモスの風を句帳にしおりけり
緒方 宣子

秋風が越されてしまふ旅心
守田 律子

秋風が墳墓やさしく撫でゆけり
黒田 順子

秋風や大きめとなる旅袍
さとうともこ

散る事も知るや知らずや彼岸花
渡辺 澄江

威銃餅となりて消えゆけり
緒方 栞

遊び仲間 凡そ居場所分かつとる
増永 笑和

まだ早い 忌明けどまして惚れなはり
河地 ゆき

忙しき ボケとる暇はまーだ無か
林田 実花

むざらしき 尻も隠れるランドセル
藤本 好水

まだ早い おでんな味のしみとらん
川部 呉穂

パツとせん 期待はずれの福袋
吉田 楽園

飽きられて 同じ話じゃやじられる
木村 道草

一般投稿

すれちがふ女抱へる曼珠沙華
田中 穂波

紅白の玉秋空へとんでゆく
常石 山紫

秋彼岸 亡き夫が植えにし ひがん花 赤、白、黄と庭を
藤原 若葉

彩る
松岡 文江

俳句

御船春菊句会 水野つとむ選